

目次

1. 擁壁の設計に用いられるパラメータに関する文献の収集・整理	5
1.1. 擁壁に作用する力について	5
1.2. 各パラメータのデータ諸元等	6
1.3. 土質性状パラメータの根拠	7
1.4. 統計データに基づく適用範囲の確認	14
1.4.1. 土石等の高さ（崩壊の深さ） h_{sm}	15
1.4.2. 急傾斜地の高さ、急傾斜地の傾斜度	16
1.4.3. データの重複確認	17
1.4.4. 降雨データと崩壊規模の関係について	20
1.4.5. 降雨データと崩壊規模データの推移	21
1.5. 感度分析によるパラメータの影響度および影響範囲の評価	27
1.5.1. 移動の力への影響評価	27
1.5.2. 統計値を考慮した影響範囲について	28
2. パラメータ検証のためのサンプル調査	33
2.1. 調査地概要	33

2.2.	流動化しやすさの評価	35
2.2.1.	概略流動化指標 (AMI)	35
2.2.2.	飽和に必要な降雨量について	36
2.3.	概略流動化指数と流体抵抗係数	38
2.4.	流体抵抗係数の検証結果の整理	40
3.	有限要素法による地盤変形解析	45
3.1.	有限要素法解析検討の目的	45
3.2.	転倒判定基準の検討	46
3.3.	転倒事例の再現解析	49
3.3.1.	被災状況の概要	49
3.3.2.	計算条件	49
3.3.3.	計算結果	51
3.4.	擁壁形状の影響程度検討	53
3.4.1.	形状①：鹿児島県常盤2地区	53
3.4.2.	形状②：がけ協の設計計算事例	57
3.4.3.	擁壁形状の影響程度検討のまとめ	62

4. 擁壁安定性評価のためのパラメータの影響度の検証.....	62
4.1. 衝撃力緩和係数 α に内包される要素について	63
4.2. 擁壁設計時における安定性評価手法の選定フロー体系の整理.....	64
5. 検討結果	68